

平成28年度 学校評価（自己評価結果等）

<p>前年度の 重点目標</p>	<p>生徒が自らの未来を切り拓くための「生きる力」を身に付けることができるよう、アクティブラーニングの導入やキャリア教育の視点を踏まえた新たな学びのフレームを構築し、実践していく。</p>		
<p>項目(担当)</p>	<p>重点目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>評価結果と課題</p>
<p>学習指導 (教務部) (特別活動部) (図書研修部) (教科会)</p>	<p>基礎基本となる知識・技能を習得し、学習する習慣や方法を身に付けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の生徒の多様な特性を理解し、計画的な学習活動を促す。</li> <li>・授業重視を徹底する。</li> <li>・部活動、学校行事から得られるもの大切さを機会あるごとに指導する。</li> <li>・図書の充実を図る。</li> <li>・読書の啓発活動を継続的に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習、授業、復習のサイクルを徹底する習慣をつけさせるように取り組んだ結果、学習活動を促すことができた。しかし、長期休業中の課題の取り組みが不十分な生徒も一部おり、休業中においても主体的な学習活動ができるような対策が必要である。</li> <li>・部活動、学校行事の活性化を図り、協調性や社会性を身に付けさせる面で、成果を出すことができた。生徒の男女比がアンバランスなので配慮することが今後の課題である。</li> <li>・年間を通じて読書啓発の活動を進めることができたが、娯楽の読書からさらに深化した読書に移行させる方策が必要である。</li> </ul>
<p>人権教育 (生徒指導部) (特別活動部) (教育相談部)</p>	<p>命の尊さを知り、自分を大切にするとともに、他人を思いやる心を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動のあらゆる機会を通じて、人と共に生きる喜びを学び、感謝の心を持って人に接することができる社会性、協調性を養う。</li> <li>・規律やマナーを遵守し、正義を重んじる態度を養う。</li> <li>・生徒相談において、支援体制の整備を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月の朝礼時や、人権週間中の校内放送において人権にかかわる講話を実施した。また、年2回の学校生活アンケートを実施し、いじめの実態把握にも努めた。いじめには至らないものであっても、人に対する思いやりに欠ける言動があるので、この後の指導に生かしたい。</li> <li>・学校行事や部活動では、様々な機会に声かけをし、気持ちよく学校生活を送ることができた。今後は生徒自ら考え行動できるようにリーダーを育てていくことが課題である。</li> <li>・支援が必要な生徒に対して、担任との連絡を密に行い、全職員に伝達する内容は、養護教諭と相談し知らせた。教科担当等からの情報共有ができる体制を整える必要もでてきている。</li> </ul>
<p>キャリア教育 (進路指導部)</p>	<p>生徒が自らの能力・特性を知り、積極的にキャリア教育に向けて取り組む姿勢を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的な学習の時間」、L Tの進路研究、生徒面談、学年集会などにより、生徒が自己の特性・適性を把握し、社会や高等教育のあり方と自己の将来を展望できるように指導する。</li> <li>・生徒の進路実現に資する職員の指導力の向上のための研究会を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合的な学習の時間」では、一年生で類型選択につながる企業等見学、二年生で大学見学、三年生で企業等見学をそれぞれ実施し、進路選択の一途とした。L Tでは外部講師による講話や進路に関する調べ学習を行うことにより進路目標の実現に向けて考えさせることを図ることができた。</li> <li>・教員間の情報交換や進路に対する意識を高めるために新旧担任会や進路学習会を行い、個々に研究したことをプリントにまとめて互いに伝え合うことができた。また、研究会にも積極的に参加し、得た情報を交換し、意識を高めることができた。</li> </ul>
<p>安心・安全な 学習環境の整備 (総務部) (生徒指導部) (保健部)</p>	<p>学校を取り巻く環境を整備し、安心・安全で、より快適な学習環境の実現を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働、応援要請、学校からの情報発信など、直接的・間接的に保護者、同窓会との連携をより深める。</li> <li>・地域と連携し、学校内外における交通安全意識の向上を図る。</li> <li>・安全意識向上のための啓発活動を継続的に実施する。</li> <li>・防災訓練の実施、災害時の組織活動の確認を確実に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏と秋の交通安全県民運動に合わせ、P T A委員会の協力を得て「交通安全マナーアップキャンペーン」を実施し、交通安全意識の向上を図った。</li> <li>・通学圏内で起きた不審者情報等を保護者にメール配信し、家庭での注意喚起をお願いした。</li> <li>・知立市と安城警察が連携して実施している「200日間自転車無事故無違反ラリー」に参加し、交通事故防止の啓発となった。</li> <li>・防災訓練やシェイクアウト訓練で、避難経路の確認や防災意識の向上をはかった。今後は災害時に個人がどのように行動し、周囲とどのように協力していくかなどを考えて行動できるように学習していくことが課題である。</li> </ul>
<p>総合評価</p>	<p>どの分野も概ね良好に成果を上げられており、地元に根ざした進学校として、地域の信頼も得ている。ただ、より一層の向上のための課題はいずれの項目についても抱える状況なので、継続と改善を組織的に取り組めるよう努める必要がある。</p>		